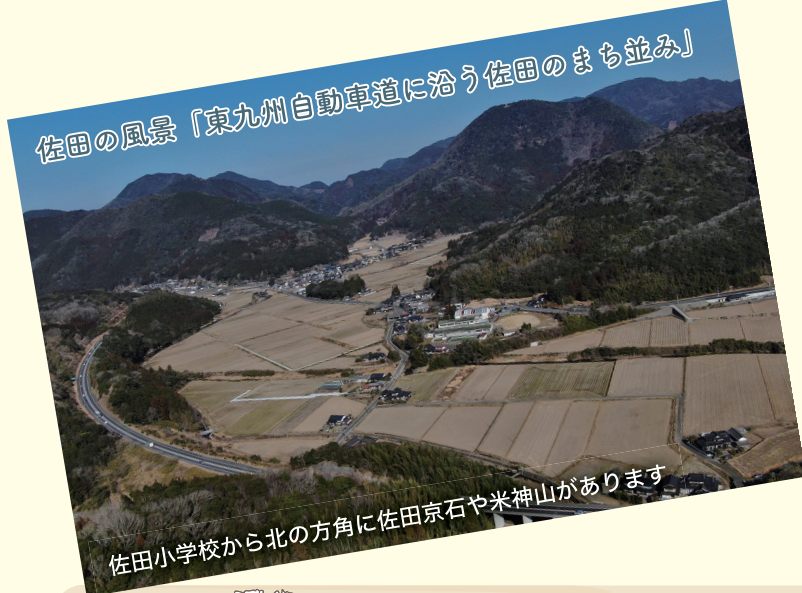


佐田の風景「東九州自動車道に沿う佐田のまち並み」



佐田小学校から北の方角に佐田京石や米神山があります



このコーナーでは、小学校区単位（地区）でまとまって地域活動に取り組む「地域コミュニティ組織」をご紹介します。



佐田地区まちづくり協議会

ささえあい 心ふれあう あんしんなまち さだ



登山者の安全を祈願

佐田地区まちづくり協議会は平成20年に市内初の地域コミュニティ組織として設立。小学校や地域のみなさんと一緒に活動してきました。佐田には「佐田を田舎（みやこ）と思うなよ京石あれば京（みやこ）なり」とうたわれる佐田京石や、神の宿る山として古代の信仰を伝える米神山など多くの見どころがあります。毎年3月開催の米神山巨石祭では、米神山登山の

子どもからお年寄りまで「チーム佐田」団結！

活動の一部をご紹介します



事務局
河野さん

今後「チーム佐田」一丸となって、さらに地域を盛り上げていきます。

前に児童が巨石群について説明します。11月開催の佐田時代めぐりウォークでもキッズガイドが活躍するほか、女性部がシシ汁を振る舞い地域全体で県内外から訪れる参加者をもてなします。イベント成功の裏には事前の草刈りなど地域のみなさんの協力があるからです。

子どもたちと名所巡り



佐田の散策
おすすめスポット

佐田郷の総鎮守「佐田神社」

精緻な彫刻が施された本殿と寄進された灯籠や絵馬の多さに、交通の要衝として栄えた「佐田のまち」の昔日を感じさせる佐田神社。境内には佐田社の板碑をはじめ、県や市指定の文化財が残っています。また、幕末に大砲製造のために賀来（か）惟熊（これたけ）が一族の財力知力を結集して築いた反射炉の遺構も神楽殿周辺にあります。



問合せ／まちづくり推進課 コミュニティ係（☎ 27-8237）



鰻絵創始者は江戸時代後期、

伊豆国（静岡県）の左官職人・

入江長八ですが、安心院町にも

長野鉄蔵、佐藤本太郎、山上重

太郎といった優れた左官職人が

いました。平成9年に旧安心院

町が発行した『安心院鰻絵』に

よりまずと、入江長八は立体的

に盛り上げた漆喰の上に筆で顔

料を塗る「上塗り技法」ですが、

安心院の長野らは、ある程度盛

り上げた白漆喰の上に、3ミリ

から5ミリの色漆喰を塗り被せ

て仕上げる「練り込み技法」だ

そうです。前者は風雨に弱く屋

内で、後者は屋外で採用されま

したが、やがて「練り込み技法」

が主流となります。

先人たちが残してくれた文化

遺産を守るため、旧安心院町は

全国に先駆けて保存運動に取り

組み、平成8年には「大分の鰻

絵習俗」として国選択無形民俗

文化財になっています。

この鰻絵文化を全国に発信し

ようと、NHK「プロフェッショ

ナル仕事の流儀」にも出演した、

現在を代表する左官職人の久住

有生氏、東京大学名誉教授で建

築史家の藤森照信氏、また地元

出身で京都市国立博物館研究員の

宮川禎一氏をお招きし、全国鰻

絵サミットの開催が予定されて

いましたが、新型コロナウイルス

の影響により、残念ながら延

期となりました。

開催された暁にはみなさんも

是非とも鰻絵の魅力を堪能いた

だきたいと思います。



鯛釣り恵比寿

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や
今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

34 愛国婦人会 会員章・バッジ

愛国婦人会は兵士の慰問、遺族や傷痍軍人の救護などを目的とした女性団体です。明治34年に創立され、上流層を中心とした会員には会員章などが渡されました。大正期には社会事業にも取り組みましたが、昭和17年に大日本国防婦人会などと大日本婦人会に統合され、戦争遂行のため女性による国策協力を行いました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）